

常任理事会が開催されました

標記が次により開催され、その概要は次のとおりです。

- ◇日 時 平成20年9月26日（金）14：00～17：00
- ◇場 所 振興会 役員室
- ◇出席者 荻原会長、水野副会長、須田副会長、羽田副会長、清水副会長、細田支部長会会長
川口支部長会副会長、大木支部長会副会長、斉木専務理事、保坂常務理事
- ◇協議事項

（1）主要事業の進捗について

1）車ふれあい祭り2008の開催について

- ・技能競技大会、イベントの経費計画確認
- ・前日の準備及び当日全般の進行確認
- ・式典（開会、表彰式）等の進行確認

（2）報告事項

1）各委員会報告事項について

《総務委員会》

- ・支部員意識調査の実施と集計概要

《教育委員会》

- ・技術講習所の運営状況
- ・技能競技大会出場チームの確認事項等
- ・検査・整備機器の会員利用方策と対応

《経営委員会》

- ・車ふれあい祭りイベント各係の役割等
- ・代車燃料補給お願いのステッカー
- ・点検整備推進入庫促進グッズ
- ・業界統一ジャンパーの対応

（3）その他

- ・衆議院総選挙への対応について〔政治連盟〕

総務委員会が開催されました

標記委員会が開催され、その概要は次のとおりです。

- ◇日 時 平成20年9月19日（金）15：00～17：30
- ◇場 所 振興会 会議室
- ◇出席者 水野委員長、細田副委員長、田中委員、吉田委員、田口委員、小林委員
五味委員、須田委員
- ◇協議事項 （1）支部員意識調査の集計結果について
- ・各項目集計結果と欠席状況の関連等分析
 - ・記述回答の分析方法の検討
- （2）その他
- ・青年部の活動状況報告

「支部員意識調査」のご協力お礼

総務委員会でお願ひしました「支部員意識調査」の実施につきましては、会員皆様のご理解とご協力により、**調査票100%回収**というかつてない成果をあげることができました。

この調査は、各支部活動の現状と各支部員の意見を頂き、会の円滑な組織活動の効率の運営をめざし、現行の各支部運営のより良いあり方を審議課題を目的としています。

今後は、調査結果をもとに支部活性化及び支部活動の糧として活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

AMS山梨青年部の活動について

正副部長会議の開催

標記会議が開催され、その概要は次のとおりです。

◇ 日 時 平成20年9月29日(月) 19:30～22:00

◇ 場 所 振興会 第3教室

◇ 出席者 須田 猛 (甲府北) 深沢孝文 (南アルプス南) 佐野良和 (南巨摩北)
古屋和仁 (塩山) 福田 稔 (大月) 大久保俊秀 (甲府南)
渡辺敏也 (韮崎)

◇ 協議事項

(1) 新規事業提案に伴う各委員会の審議結果報告について

・ 代車燃料の対応策 → 経営委員会

・ 検査整備機器及び校正機器等の活用 → 教育・業務委員会

(2) 自己チェックシートの活用について

(3) 中小企業組合まつりの準備について

(4) その他

各支部青年部活動

地域青年部の交流

《 甲府4支部青年部 》

◇ 日 時 9月6日(土) 19:30～21:30

◇ 場 所 甲府・満月

◇ 参加者 甲府東・西・南・北支部青年部等総勢 40名

甲府4支部の青年部が一堂に会する集いは3年目となり、各支部の青年部活動を熱く語り合うなど、各支部青年部員同士の交流もさらに深まった催しとなりました。

SLy 軽自動車耐久3時間レースへの出場

《 甲府南・峡北・東八支部青年部 》

◇ 日 時 9月7日(日)

◇ 場 所 スポーツランドやまなし(韮崎市穂坂町)

「軽自動車に安全装備だけ付けて気楽に自動車レースをやってみましょう」という企画で、競技車両は、旧規格の市販車両をベースに安全装置(ロールバー、4点式シートベルト、バケットシート等)を備え、オートマ車とマニュアル車の燃料給油制限を設け、全長1.2kmのコースを3時間で何周できるかを競うレースです。

甲府南・東八両支部ともに2回目の参戦、峡北支部は初参戦、出走車両は13台エントリー手に汗握る白熱したレースを展開し、結果は次となりました

- 第4位 東八支部チーム (車種 セルボ AT) 周回数 185周
- 第6位 峡北支部チーム (車種 セルボ AT) 周回数 183周
- 第10位 甲府南支部チーム (車種 ビビオ MT) 周回数 179周



東八支部チーム



峡北支部チーム



甲府南支部チーム

技術（オイル）勉強会の開催

《 甲府4支部青年部 》

- ◇ 日 時 9月18日（木）
 18：00～20：00
- ◇ 場 所 振興会 第3教室
- ◇ 出席者 甲府東・西・南・北支部
 青年部等 総勢18名

燃料の高騰に伴い、セルフスタンドが増加する反面、オイル交換の機会は少なくなることが予測されます。

そこで、当業界では、オイル交換の入庫を増やす新たな機会ととらえ、改めてオイル関連情報を収集するための勉強会として開催しました。

